



横井 孝一

帝之 謙一  
(新風) 議員



部活動地域移行について

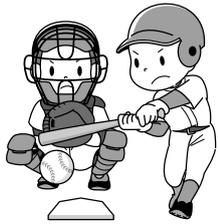
Q 地域クラブ活動の委託先となる運営団体については、市として財政的などところで関われるような仕組みが理想であり、新たに行政で出資などをしながら、現状あるさのまちづくり株式会社のような第三セクターの専門性を持った取組の団体としても検討する必要があると感じているが、そういった検討の状況を伺いたい。

A 教育部長

運営団体の検討状況については、現在市内の地域スポーツ団体及び地域文化芸術団体の現状把握に努めています。また、市内の団体を有効活用している他県の先行事例の情報を収集しているところです。これらを踏まえて、令和6年度に協議会で検討していく予定です。

その他の質問

☆下水道汚泥資源の肥料活用について



春山 新也

敏明 謙一  
(新風) 議員

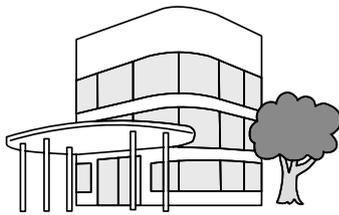


人口減少等を踏まえた市有施設等  
あり方について

Q 佐野市行財政改革指針には2014年を起点に40年先の市有施設の建て替えや大規模改修に係る費用として2,194.9億円、年換算で54.9億円とあるが、現時点での費用総計と30年後までの年換算の額を伺いたい。

A 市長

令和5年度末までに施設の縮減等に伴い減少した将来更新費用は、約235億2,000万円と積算しました。現時点で市が保有する施設を、令和35年度までそのまま持ち続けた場合に見込まれる建て替えや大規模改修に係る費用は、約1,959億7,000万円と試算しました。また、平成26年度から令和35年度までの年換算費用は、約49億円となり、1年当たり約5億9,000万円の更新費用の削減が図られました。引き続き市有施設の削減を進め、将来発生が見込まれる施設更新費用の削減に努めていきます。



滝田 尊子

洋子 議員  
(日本共産党議員団)



重度心身障がい者医療費助成について

Q 重度心身障がい者の医療費助成申請をしていない方に対し、受診の有無や未申請の理由を調査し、きめ細やかで丁寧な対応をしたいと答弁があったが、どのような調査をしているのか伺いたい。

A とも福祉部長

医療費助成の申請をしていない方の調査は、現在受給資格を取得後、一定期間医療費助成の申請を行っていない方を抽出する作業を進めているところです。今後そのような方々に対して、医療機関で保険診療を受けたときに支払う自己負担を助成する旨の案内を改めて行い、併せて未申請の理由等について聞き取りを進めていきたいと考えています。

その他の質問

- ☆高齢者の生活状況の把握について
- ☆不登校児童生徒等の学び継続事業について
- ☆宇津野洞窟について

